

1. 事業期間

2020年6月1日～2021年5月31日

2. 基本方針

当法人は、地域を支えるために必要な資源の循環を作り、社会を構成するあらゆる人が地域の未来を担い合い支える仕組みを構築することによって、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的としています。

そのため、熊本県内で活動している市民活動に関わる課題や問題を集約し、解決に向けたセミナーや情報・意見交換ができる場を提供するとともに、活動団体のネットワークを構築し、市民活動をサポートします。社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築、活動団体に仲介・提供するために必要な資源の確保を行います。

また、新たに創設した次世代育成事業「Appleseed 奨学金」（熊本モンタナ高校生留学奨学金（返済義務のない給付型で支給））では、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来世界的視野を持ちグローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的として事業を行います。

《設立から3ヵ年、以下の重点取り組みを行ってきました》

○2017年度重点取り組み【仕組みの充実と拡充】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の拡充
- ② 熊本地震支援活動団体のサポート体制・連携
- ③ 助成事業の充実

○2018年度重点取り組み【ネットワーク連携強化】

- ① 連携強化による新たな資源の確保
- ② 地域の課題解決に向けた仕組み作り・交流サロンの充実
- ③ ネットワーク連携による助成事業の充実

○2019年度事業の取り組み【基金創設と必要な資源の確保】

- ① 基金創設の理解と支援体制の構築・必要な資源の確保
（1592チャレンジ・Appleseed 奨学金）
- ② 社会課題のニーズ・課題調査、サポート体制づくり（女性・子ども・若者）
- ③ 組織運営・事務局体制の強化・充実

【2020年の運営方針について】

・地域における社会課題を把握し、必要な資源確保、ニーズに対応し現場に寄り添った助成事業を行ってまいります。また、関係団体・機関等と連携して行うことで地域の課題解決に向けて連携サポート体制

3. 事業

(公益活動推進事業)

(1) 公益活動を行う団体に仲介・提供するために、公益活動に必要な資金等の資源を募り、確保する事業

●事業名：チャレンジ1592（ひごくに）寄付募集

【事業概要】熊本地震から3年。熊本でたくさんの方が、被災者支援や復興支援活動を展開してきました。持続可能な活動にしていくために、引き続き、活動をサポートしていくために、活動に賛同いただける方を募り、熊本元気応援「チャレンジ1592寄付」として登録・ご寄付をお願いしていきます。賛同者1592人をめざす！

【内容】一口応援団メニュー（様々な寄付メニューを紹介し、寄付者の思いを大事にした寄付）

【賛同者】1,592人（メッセージを同時にお願いしてHP上で公開一賛同者）

【目標額】100万

●事業名：財団アワード

【事業概要】熊本地震後、活発に活動始めた市民活動や災害支援活動から高まった寄付に関する県民の意識をさらに高め、今後迎える課題社会の課題解決に向けて、県民一人ひとりが自分たちで解決する仕組み作りやお金の使い方自分たちの未来を作っていくことに気づいてもらうこと、サポートをする団体として設立した「くまもと未来創造基金」について広く知ってもらうことで、応援する賛同者を募り、共に未来を作る仲間を増やすことを目的として開催。

【内容】みんなでつくる未来—欲しい未来を熊本へ—

1. オルビスくまもと未来基金採択者活動最終報告
2. 対談：「子どもたちの未来へ」
3. 「1592寄付チャレンジ」熊本暮らし人基金—募集について
4. 交流会

【実施日時】2020年12月19日（土）14：00～17：00

【実施場所】熊本城彩苑

【対象者】NPO・行政関係者・企業・地域金融機関・関心ある方

【参加者】60名

【参加費】無料

【賛同者目標】50名

【予算】

(2) 公益活動を行う団体に対し、その経営に必要な資源を助成・提供する事業

●事業名：熊本暮らし人基金

【概要】熊本の課題解決に向けた活動を行っている団体を助成

【実施期間】2020年募集

【対象】熊本で活動している団体
【収入】50万 【支出】50万

(3) 公益活動を行う団体及び資源提供者に対するコンサルティング事業

●オルビスくまもと未来基金（2017年より実施）

【目的】熊本地震復興支援から始まった支援活動・地域の課題解決活動がさらに継続的に活動していくために、年間を通したコンサルティングを通して、継続的運営を行うための組織力・”資源”調達力を養い、自立・発展した運営ができる団体を養成する

対象：これまで支援サポートしてきた団体を中心に、さらにステップアップ・成長を希望する団体を審査の上選定

【期間】2020年1月～2020年12月

【支援内容】

- ① 団体の課題整理・課題に応じた支援計画
- ② 集中研修
- ③ 個別コンサルティング
- ④ 成果報告

【実施体制】

- ・事業運営資金：株式会社オルビス
- ・事業運営

伴走型コンサルティング：一般財団法人ジャパングビング

事業全般：一般財団法人くまもと未来創造基金

【支援団体】

嘉島町だんだん食堂-ハンズハンズ②子育てネットワーク『縁側moyai』③HAPPY PARK

【収入】70万（オルビス社よりご寄付）【支出】70万

●基盤強化セミナー（コロナ感染状況を見て開催方法など判断）

- ①助成金の活用セミナー（企画書作成）7月24日（金）

会場：熊本市市民活動支援センターあいぼーと

オンライン開催

【収入】0 【支出】0円

- ②団体基盤強化ステップアップセミナー（3回開催）—8・9・10月

(「熊本市市民活動センター あいぽーと」との連携事業)

ハイブリッド形式 (オンライン&リアル)

【収入】 0 【支出】 0円

③助成金セミナー

【目的】

- ・ 団体が抱える課題の一つ「資金」について、助成金活用を希望する団体は多いが、自団体の計画に合わせて有効に活用している団体は少ない。
- ・ 助成制度について助成担当者による説明や助成金のしくみ・助成団体が助成金を出す目的などを聞くことにより、助成金への理解を深め、自団体に合った助成金申請へとつなげる。
- ・ 助成担当者の説明に加えて、熊本で実際に活動している団体の報告を聞くことで、より多くの団体が上手に助成金を活用し活動を発展させていく。
- ・ 開催に当たっては、事前に共催で開催する「助成金活用・企画書作成勉強会」と連携させる。

【日時】 2020年9月11日(金) 13:30~17:00

【会場】 熊本市市民活動支援サポートセンター あいぽーと

【実施体制】 主催：一般財団法人くまもと未来創造基金 (企画・当日運営実施主体)

共催：熊本市市民活動支援センターあいぽーと (会場・広報・集客)

【協力助成団体・機関】

①くまもとわくわく基金 様 15分 (熊本市)

②九州 ろうきん 様 (九州)

③熊本市こどもの未来応援基金 様 (熊本市)

④独立行政法人福祉医療機構(WAM) 様 (全国) WAN 助成・子ども未来応援基金

【収入】 0円 (支出) 0円

●事業：ファンレイジング勉強会・交流サロン

★コロナ感染状況を見ながら判断する

【事業概要】日本ファンレイジング協会や認定・准認定ファンレイザーと連携して、ファンレイジングに関する体系的学び・ファンレイジング・資金調達力の向上を目的に勉強会を開催します。また同時に個別相談会や交流サロンを開催し、ネットワークづくりやマッチングの場、ニーズや課題の把握の場とします。

【目標】①学びの場の提供 ②「チャレンジ1592」賛同者を集める ③資金調達の専門知識を持った熊本のファンレイザーを増やす。 ④地域の様々な主体との交流サロンを開催します。

2019年度：勉強会参加者人数延べ50人・交流会サロン参加人数60人

①ファンレイジング勉強会

時期	会場	時間等	内容	備考
10月	あいぽーと・天草	14:00~16:00	ファンレイジング	
11月	あいぽーと	13:30~16:00	寄付の勉強会	

②交流サロン

時期	会場	時間等	内容	備考
11月		2時間程度	寄付について・1592寄付チャレンジプログラムについて・交流会	各20人

(4) (次世代育成事業)

●「Appleseed 奨学金」熊本モンタナ高校生留学奨学金

本事業を実施するに当たり、本財団内に特別基金として、「Appleseed 奨学金」を創設。高校生留学プログラム参加費用相当額の奨学金を、返済義務のない給付型で支給することで、県内の高校生が広く海外に視野を向け、将来グローバルに活躍をする人材を育成することで、社会の発展に寄与することを目的とする。

(2019年特に本件と35年の良好な姉妹交流を続ける米国モンタナ州政府駐日本代表事務所のご協力のもと、公益社団法人日本国際生活体験協会の事業運営により、本年は県立第一高校3年生 堤あみさん、専修大学玉名高校2年生 永瀬友さんの二名が最終選考を経て選抜されました。)

2020年

《2020年度募集スケジュール》

2020年

6月初旬 県内の高校50校に対し募集ポスター送付。

8月下旬 第一回説明会 9月オンライン説明会

12月中旬 筆記試験

面接

【収入】150万 【支出】150万

(5) 公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

【事業】情報発信及び広報・普及啓発

【内容】市民活動の一番にニーズである助成金情報や企業・行政からの情報等様々な情報を活動市民団体に提供するとともに、支援したい市民・県民・企業等に活動団体の情報や社会的課題について発信していきます。

【対象者】市民活動団体・個人・企業・行政等

【配信】HP

メルマガ

FB等SNS

4. 理事会の開催

年4回開催（6月、10月、2月、5月）

6月—今年度事業計画・予算状況

10月—進捗状況

2月—進捗状況・次年度事業計画

5月—今年度事業報告・決算状況 次年度計画・予算

5. 評議員会開催

コロナ感染対策のため

・2020年8月郵送による書面決議